

希少になったササユリ保護・保存のための獣害防止柵設置事業

補助予定額
494,500円

補助事業の背景と目的

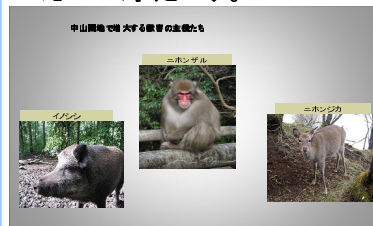
31年前、住民減少と高齢化が進むなか20年後を想定したとき、地域活力が低下し地域の維持が危ぶまれることから活力のある地域を目指して当時の若者で「深野〇〇会」を結成しました。活動の目標は都市住民が訪れてくれる地域づくりとしました。具体的に①都市との交流・空き家の活用②景観・自然環境の保全③伝統行事の継承を掲げて活動してきました。活動の基本は、行動する、継続する、楽しむ、としています。自然・景観が豊かなこともあり訪問者やカメラマンが多くなるに伴い、春になると「どこかにササユリが咲いていませんか」と質問を受けるようになり、昔は季節になると何処にでも咲いていたため何ら関心を持たなかったササユリに関心を持ちました。深野〇〇会の下部組織として平成18年「深野ササユリ保存会」を結成、都市会員を募集しました。平成21年には「にほんの里100選」平成24年には日本ユネスコ協会連盟の100年後の子供たちに残す活動「プロジェクト未来遺産」としてササユリ保存活動が認定を受けました。懐かしいササユリを見ていただき、高齢、障害のある方でも見ていただけるように、点在した山中のササユリを保存地に移植、全数データ管理しています。数年前より冬は猪、春には鹿、ユリクビナガハムシによる食害が多発、このままでは保護増殖活動が挫折するという危機感より獣害防止柵の設置を目指しました。

補助事業の実施内容

平成28年度は第1保存地、第2保存地に限定し獣害防止ネット柵を設置しました。最も注力したのは、ササユリを自然な形で保存・保護することで、多くの見学者が獣害柵に違和感を持たないように開花時期の昼間はカーテン式にして開放し、開花の状況を覗き込む、臭いを嗅ぐ、写生や写真撮影の障害にならない柵としました。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

成果については鹿の食害が発生する5月末ごろに判明しますが、成果が出ると確信しています。今後は、ネット柵のシーズン中の開放作業や雑草、つる草の除去作業を如何に省力化が可能か課題となります。我々にとっては多くの訪問者、見学者がお見えになる時、花が残り安心して見ていただけると期待しています。また、ササユリを保護している地域は多くありますが、その中の上牧町などと連携した活動を考えていく予定です。



◀ササユリを食害する
憎き獣たち



獣害防止柵設置作業▶

参加者
からの

ひとこと

ササユリ保存地の整備に参加して。地元ササユリ保存会の皆さまが全てボランティアで作業してくれていることにまず感謝。これだけ地道な活動があつてこそ貴重な花が見られること、多くの人に知ってほしい。私たちの第二のふるさと・深野、手伝えることがあれば遠慮なく言ってください。(都市会員より)

団体名 深野ササユリ保存会

事業の活動地域 宇陀市室生深野

所在地 宇陀市

活動テーマ ② ⑩ ⑭ ⑮

活動の様子
(都市会員
対象のササ
ユリ鑑賞会)



平成28年第9回「ササユリ鑑賞会」

【団体の設立経緯・目的】

高齢者の心の中にある花・希少になったササユリの保護増殖活動を行い、都市住民の誘致と地域の価値を高める。

【団体の主な活動の内容】

ササユリ保存地の草刈り、雑木の除去、播種・増殖活動を行うと共に、生育状況のデータ管理。都市会員との交流。